

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	母性看護学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対象学年	3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各施設
担当教員	勝部愛子 他	実務経験とその関連資格	総合病院で産婦人科に助産師として勤務、受胎調節実地指導員 不妊症看護認定看護師			
《授業科目における学習内容》 妊婦、産婦、褥婦および新生児の生理的変化を理解し、対象に応じた健康保持増進のための看護を実践できる基礎的能力を養う。						
《成績評価の方法と基準》 (1)母性看護学実習 I 評価表に基づいて教員が主体的に行う。出席日数、実習目標の到達度、実習への意欲、実習記録類、カンファレンスへの参加度など総合的に評価する。 (2)評価基準 ・評価表および実習評価基準に準じる。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 母性看護学① 母性看護学概論 ウイメンズヘルスト看護 メヂカルフレンド社 ヘルスプロモーション メヂカルフレンド社 ション術 南山堂 30 メディカ出版 母性看護学② マタニティーサイクルにおける母子の健康と看護 メヂカルフレンド社 ウエルネスからみた母性看護過程 + 病態関連図 医学書院 お母さんも支援者も自信がつく母乳育児支援 コミュニケー ナーシンググラフィカ 母性看護技術 看護実践のための根拠がわかる メヂカルフレンド社 病気がみえる vol10 産科 大3版 メディックメディア						
《授業外における学習方法》 実習前の事前課題、100問テストに取り組む、国試対策問題を20問/日実施する						
《履修に当たっての留意点》 実習要綱を熟読し実習準備を十分にしておいて下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
学内1日目	授業を通じての到達目標	シミュレーション実習で、周産期における看護と看護技術を学び実施することができる。		各テキスト	事前課題、100問テストに取り組む。 実習にあたってのレポート	
	各コマにおける授業予定	・実習オリエンテーション・提供する看護のエビデンスを確認するために、必要な事前学習課題の学習をする。・実習事前学習の確認テスト・対象に合わせた技術を提供するために、実習前母性看護技術の確認 ・ビデオを用いて分娩期の経過を理解する。・NSTのシミュレーション				
学内2日目	授業を通じての到達目標	シミュレーション実習で、周産期における看護と看護技術を学び実施することができる。		各テキスト		
	各コマにおける授業予定	・提供する看護のエビデンスを確認するために、必要な事前学習課題の学習をする。・実習事前学習の確認テスト・対象に合わせた技術を提供するために、実習前母性看護技術の確認 ・ビデオを用いて分娩期の経過を理解する。・NSTのシミュレーション				
病院実習1～2日目	授業を通じての到達目標	周産期にある母子を総合的に理解することができる。 病棟環境に慣れる。		病院資料	事前課題、技術試験項目の見学に取り組む。	
	各コマにおける授業予定	・施設オリエンテーション ・受け持ちは持たず、看護職(看護師・助産師)に同行しながら看護の方法を見学する。 ・男子学生は女子学生と同様に実習する。				
病院実習3～6日目	授業を通じての到達目標	周産期にある母子を総合的に理解し、看護実践ができる。		看護実習記録用紙	施設産褥期パスを理解する。	
	各コマにおける授業予定	産褥経過および新生児の生理と検査を理解し必要な日常生活援助を行なう。				
病院実習	授業を通じての到達目標	周産期にある母子を総合的に理解し、看護実践ができる。		テキスト	施設保健指導を理解する。 産褥期の継続看護の学	

<p>省 7～ 10 日 目</p>	<p>百 形 式</p>	<p>各コマに おける 授業予定</p>	<p>妊娠経過の理解および妊婦健診・検査の援助。 保健指導(個別・集団)の見学。 妊産褥婦の心理的变化を観察し母子相互作用について理解する。</p>	<p>参考図書 母親学級テキスト</p>	<p>生褥期の経産有産と子 習する。 周産期に関する制度を 学習する。</p>
------------------------------------	----------------------	------------------------------	--	--------------------------	---